

「早く家に帰りたい。」

私は、この短い言葉の中に、悲しみや恐怖、不安の気持ちが込められていると感じました。今、世界でロシアとウクライナの戦争が問題になっています。死者数は、両国あわせて三万人以上にのぼるそうです。その中には、悪いことを全くしていない民間人もたくさんいます。

「なんで、戦争をして物事を解決するんだろう。」

そう疑問をもったのは、私だけではないと思います。そんな中、私は支援をしている人の姿にあこがれをもちました。

ある日、テレビでニュースをみていたときのことです。私は、一人の日本人男性にはっとさせられました。その男性は、義勇兵に志願すると国に申告していたからです。私は、とっさに、

「日本人なんだから命をかけてまで他の国へ行く必要はないでしょ。」

とってしまいました。しかし、後々考えてみると、勇気を出して他の国のためにがんばろうとしている人に対して、最低な見方をしていたことに気づきました。同時に、この日本人男性の姿勢がとても勇敢でカッコいいと感じました。私が戦地にいる民間人だったら、この人を「ヒーロー」と呼ぶと思います。

世界は、他にもいろいろな支援をするために動いています。日本では、戦地の民間人の受け入れを積極的に行っています。日本に住んでいる息子と戦地から入国してきた母親が笑顔で再会する動画をみたときは、思わず胸がいっぱいになりました。そんな笑顔を見ていると、私もつい応援したくなりました。そこで、「募金」に参加してみました。物を買ったときに出たおつりの中からお金を出して募金しました。他の国のために支援をしているのだと思うと何か自分を誇りに思えました。うれしくなりました。何か一つでも意識して行動するだけで、自分も相手も幸せにすることができるんだと実感しました。

また、私には夢があります。「人々を支えられる人」になることです。まだなりたい職業を見つけれない私にとっても、今すぐ叶えられる夢だと思います。でも、「簡単だ」とは思えません。支えるということは、「日頃から周りを見て行動する。」、「相手の気持ちに寄り添う。」、「自分から自信をもって行動する。」というようなことが大切になってきます。実際のところ、今の自分にはどれも全く当てはまりません。その事実、いつもの私なら完全にあきらめてしまいます。そんな時、戦争のニュースの中で、苦しんでいる人やその人達を支援しようとしている人を見ました。そして、

「私もなんとかして、支えてあげたい。」

とっている自分がいました。

しかし、私が今できることは募金や戦争に関心をもつことなど、ほんの少ししかありません。それでも、自分が支えてもらう立場だったら、ほんの少しの支援でも心強いと感じると思います。大きな支援でなくていいのです。ほんの少しの支援をみんなでやればいいのです。

私たちのような中学生の言葉や行動によって、世界を動かすことには無理があるかもしれませんが、しかし、もし世界中のみんなが支え合った生活ができたらどうでしょうか。私は、今世界中が望んでいる平和というものに近づくと信じています。一人一人のちょっとした気持ちや行動をつなげて、支援の輪を広げていきませんか。